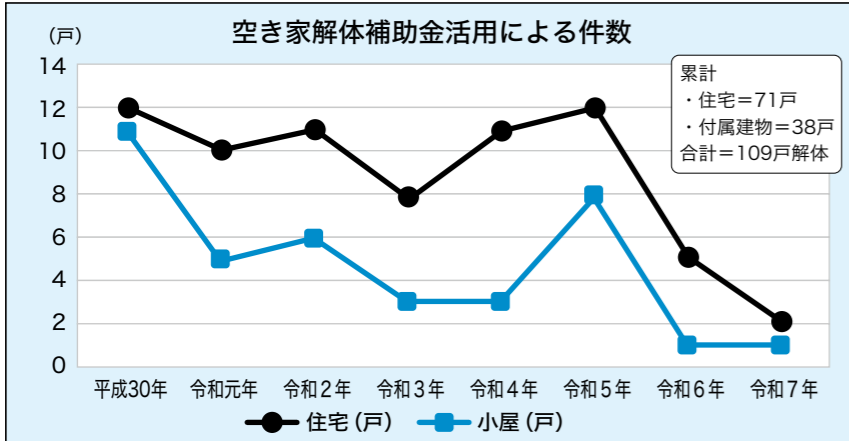


動画はこちらから→



あらさわ ひろみつ  
荒澤 広光 議員

# 空き家の実態と 今後の対応策は 解体事業補助金を増額する



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	累計
住宅	12	10	11	8	11	12	5	2	71
小屋	11	5	6	3	3	8	1	1	38

**質問** 町では定住環境の整備、空き家対策を施策の一つとして取組んでいますが、空き家対策事業の具体的な取組みについてお尋ねします。

管理不全な空き家は令和7年度現在で88戸と把握していますが、空き家の実態調査をどのようにして行っているのか。

**町長** 調査は、町内会に依頼して行っています。調査の頻度は町内会の負担を考慮して、3年に一度としており、調査内容としては、外観の目視点検や管理者の有無の確認をしており、前の調査データに修正、追加をしていく形をとっています。

**質問** 町の空き家バンクに登録されている住宅があるが、相談または問い合わせの内容、件数はどの程度あるのか。

**町長** 町の役割は、売りたい人と買いたい人をつなぐことで、交渉や契約に係る行為は当事者間で、行おうか、宅地建物取引業協会へ介入を依頼することになります。月3件程度の問い合わせ内容は、建物の立地、価格、購入までの流れについてなどです。空家バンクでは、延べ登録数34戸中13戸が成立しています。

**質問** 空き家除去事業補助金を活用し、平成30年度からの解体は、住宅と小屋を合わせて109戸と実績はあるものの令和6年度は6戸、令和7年度は3戸と減少しています。解体費用の高騰も要因としてあると推察します。管理不全な空き家は現在も88戸あるのが実態です。

**町長** 解体件数が減少している要因の一つに、解体費用の高騰があると考へており、補助率及び補助金の上限額を改訂し施行を予定しています。改訂内容については、補助率は解体費用の50%から80%に、補助金の上限は住宅の解体は100万円

**補助金増額の考えはないのか。**

から200万円に引き上げ、小屋の解体は30万円から50万円に引き上げ等を、令和8年度から予定しています。これにより、危険な空き家の除去を促進し倒壊や火災、不法侵入、害獣・害虫、悪臭、不法投棄や景観の悪化の防止に務めたいと考えています。

区分		旧制度	新制度
補助上限額	住宅	町内業者 100万円 町外 // 60万円	200万円 100万円
	小屋	町内業者 30万円 町外 // 10万円	50万円 20万円
補助率		50%	80%
対象建物		小屋のみは NG	小屋のみも OK

拡充された空き家解体補助金

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずさすことです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや政策を提言する、議員の重要な活動です。(持ち時間は議員ひとりにつき40分)

あらさわ ひろみつ  
荒澤 広光 議員

11ページ

★1 空き家の実態と今後の対応策は



いとう ひろよし  
伊藤 廣好 議員

12ページ

★1 デマンドタクシーの増便運行を  
★2 クマ・イノシシ対策と捕獲数は  
3 空き家略式代執行後の管理は



おくやま けんぞう  
奥山 謙三 議員

13ページ

★1 共助による除排雪は機能したのか



かなうち まさき  
叶内 昌樹 議員

14ページ

★1 街路灯や防災無線の対策強化を



おくに ひろふみ  
小国 浩文 議員

15ページ

★1 豪雪時の高齢者世帯対策は



議会広報紙を活用した主権者教育の一環として、年4回発行される「議会だより」に、中学生からの題字を活用する事になりました。

生徒から『町政を問う』を書いて頂き学校側で選んだ4点を、広報委員の最終審査を経て選ばせていただきました。

# 町政を問う

## 一般質問に5人が登壇

わたしの題字



舟形中学校 三年  
伊藤 愛梨

【町へひと言】

私は自然豊かな舟形町が大好きです。人口が減っていくなかで、町政が町民を思い、町民が町政を頼る、町民一人ひとりが互いを思いやる温かく人情味のある舟形町を築いていってほしいです。